

第 17 回例会報告 (11月4日)

【 出席 報告 】

- ・ 会員数 62名 ・ 出席数 39名 ・ 欠席数 23名
 ・ 当日出席率 67.92% ・ 前々回修正出席率 100% 10回目
 < 欠席会員 > 原(竜)、檜垣(巧)、板脇、門田、金森、菅、笠間、近藤(正)、真部、松木、佐々木、
 竹田、玉井、田中、寺町、渡邊(一)、矢野
 [免除会員] 原(真)、近藤(憲)、松本、中川、坂本、宇高
 < 10/21欠席補填 > (10/21職業奉仕)白石(天)、(10/25今治北)青野、檜垣(巧)、松木、大澤
 竹田、渡邊(一)、(10/26今治南)檜垣(俊)、佐伯、(11/1今治北)原田、村上(裕)

幹事報告・事務局のパソコンがクラッシュし、メールアドレスもわからなくなったので、メールをご利用の方は事務局にメールを送って下さい。

・ 回覧物；ロータリー財団国際親善奨学生名簿、「友」インターネット速報、他

3分間スピーチ / 西信正男会員・結婚して19年たち、最初は理想の女性と思えた妻とも本音を言い、けんかもする。性格が正反対なので順調かと思っていたが、妻と自分の欠点が共通な影響と思えてきた。子供が小さい頃は忙しさにかまけ、妻に任せきりで苦労をかけた。最近少し時間が取れると、今度は子供が相手にしてくれず、自我の順調な成長と諦めている。今後も夫婦共々、ご指導のほど宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員会アワー 佐藤晃一委員長

ロータリー財団の成り立ちを人物史で振り返る。ポール・ハリス：1905年創始者で、良い仲間を作り（平等、公平、誠実）相互扶助（1業1人）を唱えた。マークが馬車の車輪からギアーに変化した。アーサー・シェルドン：The Ideal of Service（奉仕の理念）、He Profits Most Who Serves Best（最も良く奉仕する者、最も多く報いられる）を提唱。フランク・コリンズ：Service Above Self（超我の奉仕）、「奉仕」=他者のために最も良く生きる自分の確立（四つのテスト）を導入。チェスレー・ペリー：組織と運営方式のハードを確立。アーチ・クランプ：財政的基盤を確立し、1917年世界的な規模で善意、教育、その他社会奉仕の分野でより良きことをするための基金を作ろうとし、1928年ロータリー財団が誕生した。



寄付には、人頭分担金（組織管理費用）、年次寄付、恒久基金がある。ポール・ハリス・フェロー P H F（財団に年次寄付か使途指定寄付で1,000ドル以上寄付した者）。P H Fがその後1,000ドル寄付毎にマルチプル P H Fとよばれる。ベネファクター（恒久基金に1,000ドル以上寄付するか、遺産の受取人にロータリー財団を指定した者）。

2670地区基本計画では、2004-2005年度に、年次寄付一人100ドル、ポリオプラスは2003-2005で一人145ドルとしている。今治 R C では、70周年記念寄付5,000ドル、人頭寄付金一人10ドルを予定し、少なくとも1～2人の P H F を募っている。

次回例会 (11月11日)

【 職 場 訪 問 例 会 】

日 時 ; 11月11日(木) 12:30 ~ 13:30
 場 所 ; 今治明德短期大学 (例会は食堂にて)

駐車場は入って左右の駐車場と右奥のグラウンドをご利用下さい。
 閉会後も学内を見学して頂けます。